

平成29年度第2回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成29年5月25日（木）9：30～10：15

場 所：各コア校（遠隔会議システム）

議 題：

1. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2017プログラム（案）【資料1－1】P1
- ・SPODフォーラム2017チラシ（案）【資料1－2】P3
- ・SPODフォーラム2017アンケートフォーム（事前）（WEB用）（案）【資料1－3】P5
- ・SPODフォーラム2017アンケートフォーム（事後）（個別）（案）【資料1－4】P9
- ・SPODフォーラム2017アンケートフォーム（事後）（WEB用）（案）【資料1－5】P11
- ・SPODフォーラム2017展示スペース等の設置について（案）【資料1－6】P15
- ・SPODフォーラム2017の開催について【参考資料1】P17

2. 平成29年度SPOD事業達成度について

- ・平成29年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧（案）【資料2】P19
- ・平成28年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧【参考資料2】P21

3. 新任教員研修の開催について

- ・授業設計ワークショップ実施要項【資料3－1】P23
- ・愛媛大学授業デザインワークショップ実施要項【資料3－2】P27

4. 平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】について

- ・平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】アンケート結果【資料4】P33
- ・平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】実施要項【参考資料3】P43

SPODフォーラム2017 プログラム案

統一テーマ:「 FeelingとThinkingをLearningにつなげる 」

資料 1 - 1

2017.5.23現在

第1日目<8月23日(水)>

会場	A	C-B	D C	B D	F E	E F
建物名	教養教育4号館2階	教養教育4号館3階	教養教育4号館4階	教養教育4号館4階	地域創生・国際交流会館3階	地域創生・国際交流会館5階
教室名	4-202	4-302	4-402	4-404	共用室301	フューチャーセンター
	WS型50名程度	WS型50名程度	WS型50名程度	講義型(80名) WS型60名程度	WS型20名程度	WS型30名程度
10:00~12:00 120分	1 職員対象 2301A 愛媛 ワーク中心/定員42 若手職員のためのキャリア形成入門 【織田隆司】 【愛媛大学】 NEW	教員対象 2301B 徳島 ワーク中心/定員40 反転授業をやってみよう ー橋本メソッドの実践からー 【金西計英】 【徳島大学】	教員・職員対象 2301C 愛媛 ワーク中心/定員36 教職員のための大学の危機管理 ー事例から考えるハラスメントー 【吉田一恵・高木佳代子】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2301D 愛媛 ワーク・講義/定員80 データに基づいた教育改善 【清水栄子】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2301E 徳島 ワーク中心/定員20 FD担当者研修 【宮田政徳・吉田博】 【徳島大学】 【中井俊樹・小林忠資】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2301F 徳島 ワーク中心/定員40 コミュニケーションの基礎 ーワークショップ体験から学ぶー 【三隅友子】 【徳島大学】 NEW
12:00~13:00	昼					
13:00~15:00 120分	2 職員対象 2302A ワーク中心/定員(調整中) [SPOD次世代リーダー研修7期生担当プログラム] NEW	教員対象 2302B 香川 ワーク中心/定員50 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業 ー協同学習入門編ー 【葛城浩一】 【香川大学】	職員対象 2302C 愛媛 ワーク中心/定員50 地域課題解決に関わる人たちのための地域課題の抽出と住民による解決に向けての合意形成づくり 【前田真】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2302D 愛媛 講義中心/定員80 大人数講義のコツ (とくに授業初心者のための) 【小林直人】 【前田真】 【愛媛大学】	FD担当者研修 【宮田政徳・吉田博】 【徳島大学】 【中井俊樹・小林忠資】 【愛媛大学】	教員対象 2302F 愛媛 ワーク中心/定員30 ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方 【村田晋也】 【愛媛大学】
15:30~17:30 120分	3 職員対象 2303A 高知 ワーク中心/定員30 ルーブリック評価入門 ー考える、つくる、活用するー 【保野秀典】 【高知大学】	教員対象 2303B 香川 ワーク中心/定員32 学生参加型授業の技法 【西本佳代】 【香川大学】	職員対象 2303C 香川 講義中心/定員50 ダイバーシティの推進について 【村上弥生】 【香川大学】 NEW	教員対象 2303D 徳島 ワーク中心/定員48 質問を変えると授業が変わる? ! 【川野卓二】 【徳島大学】		
17:40~19:00	ポスターセッション (COC1階コモンラウンジ) テーマ「FD・SD全般」					

第2日目<8月24日(木)>

教室名		4-202	4-302	4-402	4-404	共用室301	フューチャーセンター
		WS型50名程度	WS型50名程度	WS型50名程度	講義型(80名) WS型60名程度	WS型20名程度	WS型30名程度
10:00～12:00 120分	1	職員対象 2401A 加盟校外 ワーク中心／定員50 職員のための「前向きな職場づくり」入門 ～実践知を可視化、活用する～ 【宮林常崇】 【首都大学東京】NEW	教員・職員対象 2401B 加盟校外 ワーク中心／定員50 教職協働で学生を育成する ～学生をホキにさせるコツ～ 【岸岡奈津子】 【追手門学院大学】NEW	職員対象 2401C 加盟校外 ワーク中心／定員50 若手・中堅職員のためのキャリア形成・支援ワークショップ 【秦敬治】 【追手門学院大学】NEW	教員対象 2401D 加盟校外 ワーク中心／定員30 徳島 理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン 【榊原裕久・吉田博】 【芝浦工業大学】 【徳島大学】	教員・職員対象 2401E 徳島 ワーク中心／定員20 「クラウドファンディング」ちょっとやってみませんか？ ～一科研費に変わる新たな外部資金獲得方法～NEW 【角村法久】 【徳島大学】	教員対象 2401F 加盟校外 ワーク中心／定員20 学年間のつながりを生み出す学習環境デザイン 【山田嘉徳】 【大阪産業大学】NEW
		昼					
13:00～15:00 120分	2	職員対象 2402A 愛媛 ワーク中心／定員50 中堅職員のための問題解決型プロジェクトマネジメント 【丸山智子】 【愛媛大学】	教員対象 2402B 加盟校外 ワーク中心／定員50 学生の学びを促す学習評価の方法 【山田剛史】 【京都大学】NEW	職員対象 2402C 高知 ワーク中心／定員50 学生支援に必要なカウンセリングの基礎 【杉田郁代】 【高知大学】	教員・職員対象 2402D 加盟校外 ワーク中心／定員60 高知 教育改革を担う教職員のためのリーダーセミナー 「教育改革戦略の多様化と自大学文脈の可視化に向けた組織開発～ストーリーテリングの視点を変えて～」 【川島啓二】 【九州大学】NEW	教員対象 2402E 高知 ワーク中心／定員30 ディープラーニングに誘うアクティブ・ラーニングの手法 【立川明】 【高知大学】	教員対象 2402F 加盟校外 ワーク中心／定員30 教育実践を研究にする5つのステップ ～SoTLの理論と実践～ 【佐藤浩章】 【大阪大学】NEW
		15:30～17:30 120分	3	シンポジウム「 学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援 」 パネリスト：【秦敬治】【追手門学院大学】 【俣野秀典】【高知大学】 【佐々木奈三江】【徳島大学】 指定討論：【小林直人】【愛媛大学】 司会進行：【宮田政徳】【徳島大学】 (地域連携ホール けやきホール)			
18:00～20:30				情報交換会（生協食堂 きらら） 余興：阿波踊り（参加者の方への踊りのレッスン・踊りの体験を含みます）			

第3日目<8月25日(金)>

教室名	4-202	4-302	4-402	4-404	共用室301	フューチャーセンター
	WS型50名程度	WS型50名程度	WS型50名程度	講義型(80名) WS型60名程度	WS型20名程度	WS型30名程度
10:00~12:00 120分	1 職員対象 2501A 愛媛 ワーク中心/定員50 部下を育てるメンタリング ー次の一歩を踏み出させ、自らも気づくー 【阿部光伸】 【愛媛大学】	教員対象 2501B 香川 ワーク中心/定員50 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業 ー協同学習・図解の技法編ー 【中住幸治】 【香川大学】	教員・職員対象 2501C 加盟校外 講義中心/定員50 学生支援担当者のための法律に基づく障害学生への合理的配慮 【青野透】 【徳島文理大学】	教員・職員対象 2501D 高知 ワーク中心/定員60 経験を学びに変える 【塩崎俊彦】 【高知大学】	職員対象 2501E 加盟校外 ワーク中心/定員20 増やそう ー学びを促す学生対応とは何かを考えるー 【竹中喜一】 【関西大学】 NEW	教員対象 2501F 加盟校外 ワーク中心/定員28 学生のモチベーションを高める授業デザインと実践 【川瀬和也】 【宮崎公立大学】
12:00~13:00	昼					
13:00~15:00 120分	2 職員対象 2502A 加盟校外 ワーク・講義/定員30 大学グローバル化と職員の英語力:大学職員が自分の英語学習力をどう高めるのか 【福田ステイブ利久】 【文政大学】 NEW ※13:00~14:30のプログラム	教員対象 2502B 徳島 ワーク中心/定員50 グラフィックシラバスを書こう 【宮田政徳】 【徳島大学】	教員・職員対象 2502C 徳島 ワーク中心/定員50 実践的インターンシップ導入のススメ 【川崎克寛】 【徳島大学】 NEW	教員・職員対象 2502D 徳島 ワーク中心/定員50 「発達」の場としての授業デザイン ーパフォーマンス心理学入門ー 【新原特義】 【徳島大学】 NEW	職員対象 2502E 徳島 ワーク・講義/定員25 学務系職員の基礎力講座 ー教職協働における事務職員の役割ー 【三好信幸・福川利夫・宮川純子】 【徳島大学】 NEW	教員対象 2502F 愛媛 ワーク中心/定員30 看護教員のためのアクティブ・ラーニング(AL)入門 ー講義にALを組み込むー 【小林忠資】 【愛媛大学】 NEW

全体受付・クローク:教養教育4号館2階4-201

展示・休憩スペース:教養教育4号館2階4-203、講師控室:4号館2階4-204

SPODフォーラム2017 プログラム案

統一テーマ:「 FeelingとThinkingをLearningにつなげる 」 (会場名変更前)

第1日目<8月23日(水)>

		A 4-202 WS型50名程度	B⇒D 4-403・404 講義型(15080名) WS型60名程度	C⇒B 4-302 WS型50名程度	D⇒C 4-402 WS型50名程度	E⇒F COCフューチャーセンター WS型30名程度	F⇒E COC-301 WS型20名程度
10:00～12:00 120分	1	職員対象 愛媛 2301A ワーク中心/定員42 若手職員のためのキャリア形成入門 [織田隆司] [愛媛大学]	教員・職員対象 愛媛 2301B ワーク・講義/定員80/450 データに基づいた教育改善 [清水栄子] [愛媛大学]	教員対象 徳島 2301C ワーク中心/定員40 反転授業をやってみよう ー橋本メソッドの実践からー [金西計英] [徳島大学]	教員・職員対象 愛媛 2301D ワーク中心/定員36 教職員のための大学の危機管理 ー事例から考えるハラスメントー [吉田一恵、高木佳代子] [愛媛大学]	教員・職員対象 徳島 2301E ワーク中心/定員40 コミュニケーションの基礎 ーワークショップ体験から学ぶー [三隅友子] [徳島大学]	教員・職員対象 2301F ワーク中心/定員20 FD担当者研修 [宮田政徳・吉田博] [徳島大学] [中井俊樹・小林忠資] [愛媛大学]
12:00～13:00	昼						
13:00～15:00 120分	2	職員対象 2302A ワーク中心/定員(調整中) [SPOD次世代リーダー研修7期生担当プログラム]	教員・職員対象 愛媛 2302B 講義中心/定員80/450 大人数講義のコツ (とくに授業初心者のための) [小林直人] [愛媛大学]	教員対象 香川 2302C ワーク中心/定員50 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業 ー協同学習入門編ー [葛城浩一] [香川大学]	職員対象 愛媛 2302D ワーク中心/定員50 地域課題解決に関わる人たちのための地域課題の抽出と住民による解決に向けての合意形成づくり [前田真] [愛媛大学]	教員対象 愛媛 2302E ワーク中心/定員30 ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方 [村田晋也] [愛媛大学]	
15:30～17:30 120分	3		教員対象 徳島 2303B ワーク中心/定員48 質問を変えると授業が変わる? [川野卓二] [徳島大学]	教員対象 香川 2303C ワーク中心/定員32 学生参加型授業の技法 [西本佳代] [香川大学]	職員対象 香川 2303D 講義中心/定員50 ダイバーシティの推進について [村上弥生] [香川大学]	教員対象 高知 2303E ワーク中心/定員30 ルーブリック評価入門 ー考える、つくる、活用するー [俣野秀典] [高知大学]	
17:40～19:00		ポスターセッション (COC1階コモンラウンジ) テーマ「FD・SD全般」					

第2日目<8月24日(木)>

		4-202 WS型50名程度	4-403・404 講義型(15080名) WS型60名程度	4-302 WS型50名程度	4-402 WS型50名程度	COCフューチャーセンター WS型30名程度	COC-301 WS型20名程度	
10:00～12:00 120分	1	職員対象 加盟校外 2401A ワーク中心／定員50 職員のための「前向きな職場づくり」入門 ～実践知を可視化、活用する～ [宮林常崇] 【首都大学東京】	教員対象 加盟校外 2401B ワーク中心／定員30 徳島 理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン [神原暢久・吉田博] 【芝浦工業大学】【徳島大学】	教員・職員対象 加盟校外 2401C ワーク中心／定員50 教職協働で学生を育成する ー学生をホキにさせるコツー [岸岡奈津子] 【追手門学院大学】	職員対象 加盟校外 2401D ワーク中心／定員50 若手・中堅職員のための キャリア形成・支援ワーク ショップ [秦敬治] 【追手門学院大学】	教員対象 加盟校外 2401E ワーク中心／定員20 学年間のつながりを生み出す 学習環境デザイン [山田嘉徳] 【大阪産業大学】	教員・職員対象 徳島 2401F ワーク中心／定員20 「クラウドファンディング」ちょっとやってみませんか？ ー科研費に変わる新たな外部資金獲得方法ー [角村法久]【徳島大学】	
12:00～13:00	昼							
13:00～15:00 120分	2	職員対象 愛媛 2402A ワーク中心／定員50 中堅職員のための問題解決型 プロジェクトマネジメント [丸山智子] 【愛媛大学】	教員・職員対象 加盟校外 2402B ワーク中心／定員80 教育改革を担う教職員のためのリーダーセミナー 「教育改革戦略の多様化と自大学文脈の可視化に向けた組織開発 ーストーリーテリングの視点を変えてー」 [川島啓二]【九州大学】	教員対象 加盟校外 2402C ワーク中心／定員50 学生の学びを促す学習評価の方法 [山田剛史] 【京都大学】	職員対象 高知 2402D ワーク中心／定員50 学生支援に必要なカウンセリングの基礎 [杉田都代] 【高知大学】	教員対象 加盟校外 2402E ワーク中心／定員30 教育実践を研究にする5つのステップ ーSoTLの理論と実践ー [佐藤浩章] 【大阪大学】	教員対象 高知 2402F ワーク中心／定員30 ディープラーニングに誘う アクティブ・ラーニングの手法 [立川明] 【高知大学】	
15:30～17:30 120分	3	シンポジウム「 学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援 」 パネリスト：[秦敬治]【追手門学院大学】 [俣野秀典]【高知大学】 [佐々木奈三江]【徳島大学】 指定討論：[小林直人]【愛媛大学】 司会進行：[宮田政徳]【徳島大学】 (地域連携ホール けやきホール)						2403G 定員260
18:00～20:30		情報交換会（生協食堂 きらら） 余興：阿波踊り（参加者の方への踊りのレッスンの踊りの体験を含みます）						

第3日目<8月25日(金)>

		4-202 WS型50名程度	4-403・404 講義型(15080名) WS型60名程度	4-302 WS型50名程度	4-402 WS型50名程度	COCフューチャーセンター WS型30名程度	COC-301 WS型20名程度	
10:00～12:00 120分	1	職員対象 愛媛 2501A ワーク中心/定員50 部下を育てるメンタリング ー次の一歩を踏み出させ、自らも気づくー [阿部光伸] [愛媛大学]	教員・職員対象 高知 2501B ワーク中心/定員80 経験を学びに変える [塩崎俊彦] [高知大学]	教員対象 香川 2501C ワーク中心/定員50 始めよう! アクティブ・ラーニング型授業 ー協同学習・図解の技法編ー [中住幸治] [香川大学]	教員・職員対象 加盟校外 2501D 講義中心/定員50 学生支援担当者のための法律に基づく障害学生への合理的配慮 [青野透] [徳島文理大学]	教員対象 加盟校外 2501E ワーク中心/定員28 学生のモチベーションを高める授業デザインと実践 [川瀬和也] [宮崎公立大学]	職員対象 加盟校外 2501F ワーク中心/定員20 教務系職員としての実践知を増やそう ー学びを促す学生対応とは何かを考えるー [竹中喜一] [関西大学]	
12:00～13:00	昼							
13:00～15:00 120分	2	職員対象 加盟校外 2502A ワーク・講義/定員30 大学グローバル化と職員の英語力:大学職員が自分の英語学習力をどう高めるのか [福田ステイ・利久] [文教大学] ※13:00～14:30のプログラム	教員・職員対象 徳島 2502B ワーク中心/定員50 「発達場」としての授業デザイン ーパフォーマンス心理学入門ー [新原将義] [徳島大学]	教員対象 徳島 2502C ワーク中心/定員50 グラフィックシラバスを書こう [宮田政徳] [徳島大学]	教員・職員対象 徳島 2502D ワーク中心/定員50 実践的インターンシップ導入のススメ [川崎克寛] [徳島大学]	教員対象 愛媛 2502E ワーク中心/定員30 看護教員のためのアクティブ・ラーニング(AL)入門 ー講義にALを組み込むー [愛媛大学]	職員対象 <td>徳島 2502F ワーク・講義/定員25 学務系職員の基礎力講座 ー教職協働における事務職員の役割ー [三好信幸・福田利夫・宮川純子][徳島大学]</td>	徳島 2502F ワーク・講義/定員25 学務系職員の基礎力講座 ー教職協働における事務職員の役割ー [三好信幸・福田利夫・宮川純子][徳島大学]

全体受付・クローク:教養教育4号館2階4-201

展示・休憩スペース:教養教育4号館2階4-203、講師控室:4号館2階4-204

SPODフォーラム 2017



FeelingとThinkingをLearningにつなげる

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムは… 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2017年 8/23 (水) ▶ 25 (金) 徳島大学 常三島キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) / 徳島大学

参加申込

※事前申込制 (先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付 2017年6月22日 (木) 正午~7月7日 (金) 正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2017年7月13日 (木) 正午~7月27日 (木) 正午

申込みはWEBから

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

トル

参加費

SPOD加盟校の教職員

無料

SPOD加盟校以外の教職員

7,000円~

※情報交換会費は除きます。

10,000円

特徴

1

多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2

職場で使える
実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3

SDプログラムも
多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。

主な交通機関

※駐車スペースはありませんので、
公共交通機関の利用をお願いいたします。

- JR松山駅から 伊予鉄道市内電車…環状線①(古町方面行き「赤十字病院前」下車)伊予鉄バス……………東西線「愛媛大学前」下車
- 松山市駅から 伊予鉄道市内電車…環状線②(大街道方面行き)「赤十字病院前」下車

—参加者の声—

別添データに差替

- 教育に対する意識の向上、ネットワークの構築など、幅広い分野での交流と学びの機会が豊富で、有意義な時間となりました。
- 普段の職務の中では気づきにくい職務上の改善点や発想転換のきっかけを、グループワーク研修を通して改めて学びなおすことが出来ました。
- 各プログラム、ポスターセッション等を通じて、情報交換・意見交換の機会が豊富にあり、自大学(自身)の取組を相対化できました。



別添データに差替

当日のお問い合わせ先
徳島大学学務部教育支援課
088-656-7080

お問合せ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学)

☎ 089-927-9154

✉ E-mail spod@st

全体
受付

プログラムを受講する方は、必ず各自の受講初日に全体受付を済ませてください。
■場所：共 教養教育4号館2階4-201 ■時間：8月23日(水)～25日(金) 9:00～

過去の
資料等は
こちら

トル

会 場	A	B	C	D	E	F
建物名	共通講義棟B 1階	共通講義棟B 4階	共通講義棟B 4階	総合教育棟1 2階	総合教育棟1 3階	愛大ミューズ 1階
教室名	CRI-1講義室	403講義室	404講義室	社会共創学部会議室	305講義室	アクティブ・ラーニングスペース2

1 日目 8月24日(水)	1	SD 2401A 社会連携系職員養成プログラム レベル1 New!! 地域特性論 -地域課題の抽出と住民による解決に向けての合意形成づくり- 前田眞 (愛媛大学) ワーク 36名	FD・SD共通 2401B 大学の危機管理 -事例から考える ハラスメント- 吉田一恵、倉田千春 (愛媛大学) ワーク 30名	FD・SD共通 2401C New!! 大学職員の基礎力を考える 丸山智子 (愛媛大学) ワーク 30名	FD・SD共通 2401D 大学組織を理解する 中井俊樹 (愛媛大学) 宮林常崇 (首都大学東京) ワーク 60名	SD 2401E New!! 大学における障害学生支援とは？ -障害者差別解消法と合理的配慮 坂井聡 (香川大学) 講義 90名	FD 2401F New!! アイスブレイクの技法 加地真弥 (愛媛大学) ワーク 30名
	2	FD 2402A 理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン 梶原暢久 (芝浦工業大学) 吉田博 (徳島大学) ワーク 30名	SD 2402B New!! 始めよう、仕事の整理と協働 次世代リーダー養成ゼミナール (6期生) ワーク 24名	FD・SD共通 2402C New!! 経験から学ぶ力を育てる 塩崎俊彦 (高知大学) ワーク 40名	FD 2402D 反転授業をやってみよう 金西計英 (徳島大学) ワーク 50名	SD 2402E New!! 教育・学修支援を担う 図書館員の能力開発 -求められる知識・スキルを再考する- 井上真琴 (同志社大学) 講義 90名	FD 2402F New!! 質問を変えると授業が変わる?!! 川野卓二 (徳島大学) ワーク 36名
	3	FD・SD共通 2403A New!! 知財リスク対応の基礎知識並びに知財人材育成の授業デザイン 木村友久 (山口大学) ワーク 60名	FD 2403C New!! クリティカルシンキングを促す 課題設定をしよう ワーク 30名	FD 2403D ルーブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- ワーク 30名	FD 2403E 大人数講義法の基本 小林直人 (愛媛大学) ワーク 30名	FD・SD共通 2403F New!! 経験学習入門 高橋平徳 (愛媛大学) ワーク 36名	
		17:40 ～ 19:00	ポスターセッション				

別添データ参照。
※会場欄には「アルファベット」「建物名」「教室名」を入れてください。
※「ワーク」「講義」「定員」「連続受講が必須のプログラム」

別添データ参照。
※会場欄には「アルファベット」「建物名」「教室名」を入れてください。
※「ワーク」「講義」「定員」「連続受講が必須のプログラム」「New!!」のマークは、昨年度と同じマーク・色で構いません。
※「ワーク・講義」マーク新規作成。
下部説明欄：グループワークと講義を併用したプログラムです。
※「FD」「SD」「FD・SD共通」のマークは不要

2日目
8月25日(木)

1	10:00 ～ 12:00	FD 2501A New!! 研究指導入門 -卒論作成を支援する- 近田政博(神戸大学) ワーク 50名					D 2501F w!! リーディング入門 忠資(愛媛大学) ワーク 36名
2	13:00 ～ 15:00	FD 2502A グラフィック・シラバスを書く 宮田政徳(徳島大学) ワーク 32名	高めよう 吉田広毅(常葉大学) ワーク 30名	成の技法編 西本佳代(香川大学) ワーク 28名		大場淳(広島大学) 講義 90名	D 2502F w!! アクティブラーニングに誘う アクティブ・ラーニングの手法 -物理、化学の実験例より- 立川明(高知大学) ワーク 36名
3	15:30 ～ 17:45	FD・SD共通 2503G シンポジウム 南加記念ホール New!! 「経験を学びに変える教育と能力開発」 日向野幹也(早稲田大学) 村山孝道(京都文教大学) 村田晋也(愛媛大学) 司会:小林直人(愛媛大学) 200名					
	18:15 ～ 20:15	情報交換会 会場:愛媛大学 大学会館 1階 会費:4,000円(事前申込み制)					

3 日目 8月26日(金)	1 10:00 ～ 12:00	FD・SD共通 2601A New!! 視覚障害学生支援の基礎 -テキストデータ化の体験- 宮城愛美 (筑波技術大学) 講義 30名	SD 2601B 研究支援職員としての基礎知識 -ゼロから始める研究者との協働- 宮内卓也 (高知大学) ※本プログラムは9:15～12:15の3時間で実施します。 ワーク 28名	FD・SD共通 2601C New!! 教育データ解釈入門I&II 中山見、清水栄子 (愛媛大学) ワーク 40名	FD 2601D ルーブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- 侯野秀典 (高知大学) ※2403Dと同内容のため、どちらか一方の受講となります。 ワーク 40名	SD 2601E New!! 管理職・監督職のためのリーダーシップセミナー 秦敬治 (追手門学院大学) ワーク 90名	FD 2601F 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計 課題分析図の活用- 仲道雅輝 (愛媛大学) ワーク 24名
	2 13:00 ～ 15:00	FD・SD共通 2602A New!! 聴覚障害学生の主体性を引き出す支援 -パソコンノートテイクの体験をとおして- 宇都野康子 (筑波技術大学) 講義 30名	SD 2602B New!! ラウンドテーブル これからのSDを考える 久保秀二、山田隆司 (愛媛大学) ワーク 30名			FD・SD共通 2602D New!! ラウンドテーブル 学生の経験を学びに変える 小林修 (愛媛大学) ワーク 60名	

全体カラーを「紫」にする

FeelingとThinkingを
Learningにつなげる

2017年8/23(水)▶25(金)

2017

SPOD フォーラム 2016

経路を学びに変える

2016年 8/24(水)▶26(金)

会場: 愛媛大学城北キャンパス ▶MAPをどうぞ

参加費: SPOD加盟校の教職員 無料 / SPOD加盟校以外の教職員 7,000円

写真差替

10,000円

申込受付期間 ※事前申込制(先着順)
SPOD加盟校の教職員限定受付: 6月23日(木)正午~7月9日(金)正午
一般受付(SPOD加盟校のみも申込可): 7月14日(木)正午~7月20日(木)正午

チラシ差替

※1日のみの受講も可能です。
※申込み内容に変更がある場合は、SPOD事務局(spod@shimane-u.ac.jp)まで、メールにてご連絡ください。申込フォームから、登録プログラムの変更・取消はできません。6月9日(火)以降は、キャンセルのご連絡のみ承ります。
※SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、SPOD加盟校以外の皆様には、参加費として、7,000円を頂戴させていただきます。参加費は、受講後お送りする振込用紙にてお支払いください。

トル セミナーお申込みフォーム

手順

1. ~~セミナー~~お申込みフォームから参加希望のプログラムをお申込みください。
2. すぐにSPODフォーラムお申込み内容確認メール(自動配信)が送信されます。
3. SPOD事務局において、先着順に各プログラムの人数を確定し、改めて、受付完了メールをお送りします。
4. お申込者が受付完了メールを受信後、申込みが確定されます。

※1日のみの受講も可能です。
※申込み内容に変更がある場合は、SPOD事務局(spod@shimane-u.ac.jp)まで、メールにてご連絡ください。申込フォームから、登録プログラムの変更・取消はできません。6月9日(火)以降は、キャンセルのご連絡のみ承ります。
※SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、SPOD加盟校以外の皆様には、参加費として、7,000円を頂戴させていただきます。参加費は、受講後お送りする振込用紙にてお支払いください。

▼ 個人情報等についてご入力ください。

※必須項目です。
※旧字体、特殊な文字の入力は、データが正常に表示されないことがありますのでご遠慮ください。

学校種*	大学 短期大学 高等専門学校 その他
学校名*	国立
学校の所在地*	地区名を選択 都道府県名を選択
所属*	例:〇〇学部〇〇課
職種*	☒ 教員 ☐ 職員 ☐ 学生/大学院生 ☐ その他
職名*	例:教授(課長)
お名前*	例:愛媛 太郎(姓と名の間に全角スペースを入れてください)
フリガナ*(全角入力)	例:エヒメ タロウ(姓と名の間に全角スペースを入れてください。)
電話番号*(半角入力)	例:01234567899(携帯可、ハイフンなし)
E-mail*	
E-mail*(再入力)	
大学教職員等の経年数*	年 例:10
年齢	☐ 20歳未満 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳以上
備考欄(120文字以内)	

▼ SPOD加盟校(四国)以外の大学に所属の方は、受講後振込用紙を送付いたしますので、必ず以下をご記載ください。

※旧字体、特殊な文字の入力は、データが正常に表示されないことがありますのでご遠慮ください。

振込用紙送付先	☐ 自宅 ☐ 勤務先
送付先の郵便番号	(ハイフンなし) 例:7900577
送付先の住所	(都道府県名から記載)
送付先の所属	例:愛媛大学教育学生支援部教育企画チーム

追加項目

その他

- ・ポスターセッション代表発表者
- ・ポスターセッション共同発表者
- ・SPODフォーラム2017講師
- ・該当なし

プログラム

▼ 参加希望のセミナーを下記表から選択してください。※同一時間の複数選択はできません。

▶ セミナーお申込みフォームの入力方法

▶ 過去の研修資料等

※資料については、講師に許可されたもののみ掲載しています。

トル

トル

▶ セミナーお申込フォームの入力方法

▶ 過去の研修資料等

※資料については、講師に許可されたもののみ掲載しています。

2017

▶ フォーラム 2016 シラバス

・・・連続受講が必須のプログラムです。

トル

※「FD」「SD」等の表示は、プログラム区分を記載しておりますが、主な受講対象は各プログラムの「シラバスPDF」をご確認ください。
※プログラム詳細は、各プログラム下部の「シラバスPDF」をご確認ください。

8月24日(水)							8月25日(木)		8月26日(金)	
8月24日(水) -1日目-										
受付開始 9:00 ~ 受付会場:(共通講義棟B 1階 学生談話室)										
		共通講義棟B 1階	共通講義棟B 4階	共通講義棟B 4階	総合教育棟1 2階	総合教育棟1 3階	愛大ミュージアム			
		ORI-1 講義室	403 講義室	404 講義室	社会共創学部 会議室	305 講義室	AL2			
1 時限 10:00 ~ 12:00		SD 2401A 社会連携系職員養成 プログラムレベル I 地域特性論-地 域課題の抽出と住 民による解決に向 けての合意形成づく り-NEW 前田 敏 (愛媛大学) 【定員:36名】 	FD・SD共通 2401B 大学の危機管理-事 例から考えるハラス メント- 吉田一恵 倉田千香 (愛媛大学) 【定員:30名】 	FD・SD共通 2401C 大学職員の基礎力 を考えるNEW 丸山智子 (愛媛大学) 【定員:30名】 	FD・SD共通 2401D 大学組織を理解す る 中井俊樹 (愛媛大学) 宮村常崇 (首都大学東京) 【定員:60名】 	SD 2401E 大学における障害 学生支援とは？- 障害者差別解消法 と合理的配慮- NEW 坂井 聡 (香川大学) 【定員:30名】 	FD 2401F アイスブレイクの技 法NEW 加地真弥 (愛媛大学) 【定員:30名】 			
		SPODフォーラム2017のプログラムに変更								
各プログラム欄上部にある「FD」「SD」「FD・SD共通」のマークは、今回から表記しないことになったため、不要です。										
3 時限 15:30 ~ 17:30		FD・SD共通 2403A 知財リスク対応の基 礎知識並びに知財 人材育成の授業デ ザインNEW 木村友久 (山口大学) 【定員:60名】 	※連続受講必須の プログラムの受講を 希望の場合、同一 時間帯に実施する 他プログラムの受講 はできません。ご注 意ください。		FD 2403D クリティカルシンキ ングを促す課題設 定をしようNEW 久保田祐歌 (徳島大学) 【定員:30名】 	FD 2403D ルーブリック評価入 門-考える、つくる、 活用する- ※2601Dと同内容 のため、どちらか一 方の受講となります。 保野秀典 (高知大学) 【定員:40名】 	FD 2403E 大人教習法の基 本 小林直人 (愛媛大学) 【定員:30名】 	FD・SD共通 2403F 経験学習入門NEW 高橋千平 (愛媛大学) 【定員:36名】 		
		ポスターセッション 共通講義棟B 2階201 講義室 ※見学自由(ポスター出展申込については、別途案内済)								

※台風や地震等の災害により開催が困難とされる場合、やむを得ず中止または延期することがございます。

▼ 情報交換会について

SPODフォーラムでは、8月25日(木)に情報交換会を用意しております。
SPODフォーラムの趣旨の一つに、組織を越えた意義のある「相互交流・関係づくりの場の提供」を掲げています。フォーラムには、講師の方をはじめ、国立・公立・私立、大学・短大・高専の多数の教職員や学生が参加されますので、相互交流や関係づくりを行うことができます。
情報交換会は、ビュッフェスタイルの夕食を食べながら、情報交換・人脈づくりができる場です。所属組織を越えた、意義あるネットワークづくりの場ですので、是非ご参加ください。

※は必須項目です。

情報交換会*	日 時:	平成29年8月25日(木)18:15~20:15
	会 場:	徳島大学学生会館1階
	会 費:	4,000円(事前申込制 全体受付時に支払いください。)
	参加する	☐ 参加する ☐ 参加しない

トル

平成29年8月24日(木)18:00~20:30

徳島大学常三島キャンパス
生協食堂きらら

▼ 本フォーラムの実施にあたり参考とするため、下記の事前アンケートにお答えください。

*は必須項目です。

SPODフォーラムの参加は何回目ですか？ *	1回目 ▼	「9回目」の選択肢を追加
SPODフォーラムについてどこで知りましたか？ * (複数選択可)	☐ SPOD ホームページ ☐ SPOD メールマガジン ☐ SPOD フォーラムチラシ ☐ SPOD 研修プログラムガイド 2016 トル ☐ SPOD 関係者からの案内 ☐ その他 	
SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？ * (複数選択可)	☐ 自分自身の能力開発のため ☐ 組織の課題を解決するヒントを得るため ☐ 組織を超えた人脈づくりのため ☐ FDやSDに関する情報収集のため ☐ 上司に参加をすすめられたため ☐ その他 	
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？ *	☒ FDの実施担当者 ☒ SDの実施担当者 ☐ FDとSD両方の実施担当者 ☐ FDやSDの実施担当者ではない	
シンポジウムのパネリストに質問したいこと、など (700文字以内)		
各プログラムで学習したいこと、 期待していること、など (500文字以内)		

個人情報の取扱について

SPOD事務局では、個人情報の保護に努めております。ご記入いただいた個人情報は、SPOD事務局で管理し、SPODフォーラムの参加に関する確認・連絡及び受講者名簿(氏名、所属、職種のみ)の作成・配布以外には使用しません。

お申込み内容確認メールが自動送信されるように設定しております。お申込み内容確認メールが届いていない場合には、お手数ですが、SPOD事務局(spod@stuehime-u.ac.jp)まで連絡をお願いいたします。

確認する

リセット

Copyright (C) SPOD All Rights Reserved.

SPODフォーラム 2017 アンケート（個別プログラム用）

機械で読み取りますので、筆記用具は 黒の鉛筆・シャープペン を使用してください。
 あてはまる番号を 塗りつぶして ご回答ください。訂正する場合は 消しゴム でよく消してください。
 （鉛筆がない場合は黒ボールペン可）回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

- ① 大学 ② 短期大学 ③ 高等専門学校 ④ その他（ ）

(2) 所属先の設置者

- ① 国（国立大学法人） ② 地方自治体（公立大学法人を含む）
 ③ 学校法人 ④ その他（ ）

(3) 所属先の所在地

- ① 四国 ② 北海道 ③ 東北 ④ 関東
 ⑤ 中部 ⑥ 近畿 ⑦ 中国 ⑧ 九州・沖縄

(4) 職種

- ① 教員 ② 職員 ③ 学生 ④ その他（ ）

2. この研修について

- ④ そう思う ③ どちらかといえばそう思う ② どちらかといえばそう思わない ① そう思わない

設 問		回 答			
(1)	研修目的や内容についてある程度知った上で参加した	④	③	②	①
(2)	研修は自分の業務に生かせる内容だった	④	③	②	①
(3)	研修の到達目標が明確に示されていた	④	③	②	①
(4)	研修はわかりやすい順序ですすすめられた	④	③	②	①
(5)	講師の言動は学習意欲を高めた	④	③	②	①
(6)	自分に必要な知識やスキルを身につけることができた	④	③	②	①
(7)	受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う	④	③	②	①
(8)	研修は全体的に満足できるものだった	④	③	②	①

3. この研修を受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

4. この研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

テーマカラーを紫に変更

2017

SPODフォーラム 2016 アンケートフォーム

SPODフォーラム 2016へご参加いただき、ありがとうございました。

フォーラム全体について、率直なご意見をお聞かせください。

回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

1. SPODフォーラムでの研修成果について

SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

所属組織を越えて人脈を広げることができた

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

業務や教育に対する意識や考え方が変わった

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい

☐ そう思う☐ どちらかといえばそう思う☐ どちらかといえばそう思わない☐ そう思わない

2. 感想、ご意見、ご要望等

2. 感想、ご意見、ご要望等

SPODフォーラムに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

SPODフォーラムをよりよいものとするために改善点があれば、具体的にお書き下さい。また、開催日程や会場等についてご要望がございましたら、あわせてお書き下さい。

SPODフォーラムで開講してほしい研修プログラムがあれば、具体的に内容をお書き下さい。

SPODの事業全般についてご意見やご要望があれば、自由にお書き下さい。

3. 参加者ご自身について

所属先	☐ 大学 ☐ 高等専門学校	☐ 短期大学 ☐ その他
所属先の設置者	☐ 国(国立大学法人) ☐ 学校法人	☐ 地方自治体(公立大学法人を含む) ☐ その他
所属先の所在地	北海道 ▼	
職種	☐ 教員 ☐ 学生	☐ 職員 ☐ その他
大学教職員等の経験年数	年 例: 10	
SPODフォーラムの参加は何回目ですか？	1回目 ▼	「9回目」の選択肢を追加
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？	☐ FDの実施担当者 ☐ FDとSD両方の実施担当者	☐ SDの実施担当者 ☐ FDやSDの実施担当者ではない

確認画面へ

リセット

2017

SPOD フォーラム 2015 アンケートフォーム

アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた皆様の貴重なご意見を踏まえ、来年度のフォーラムの改善に役立てたいと存じます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

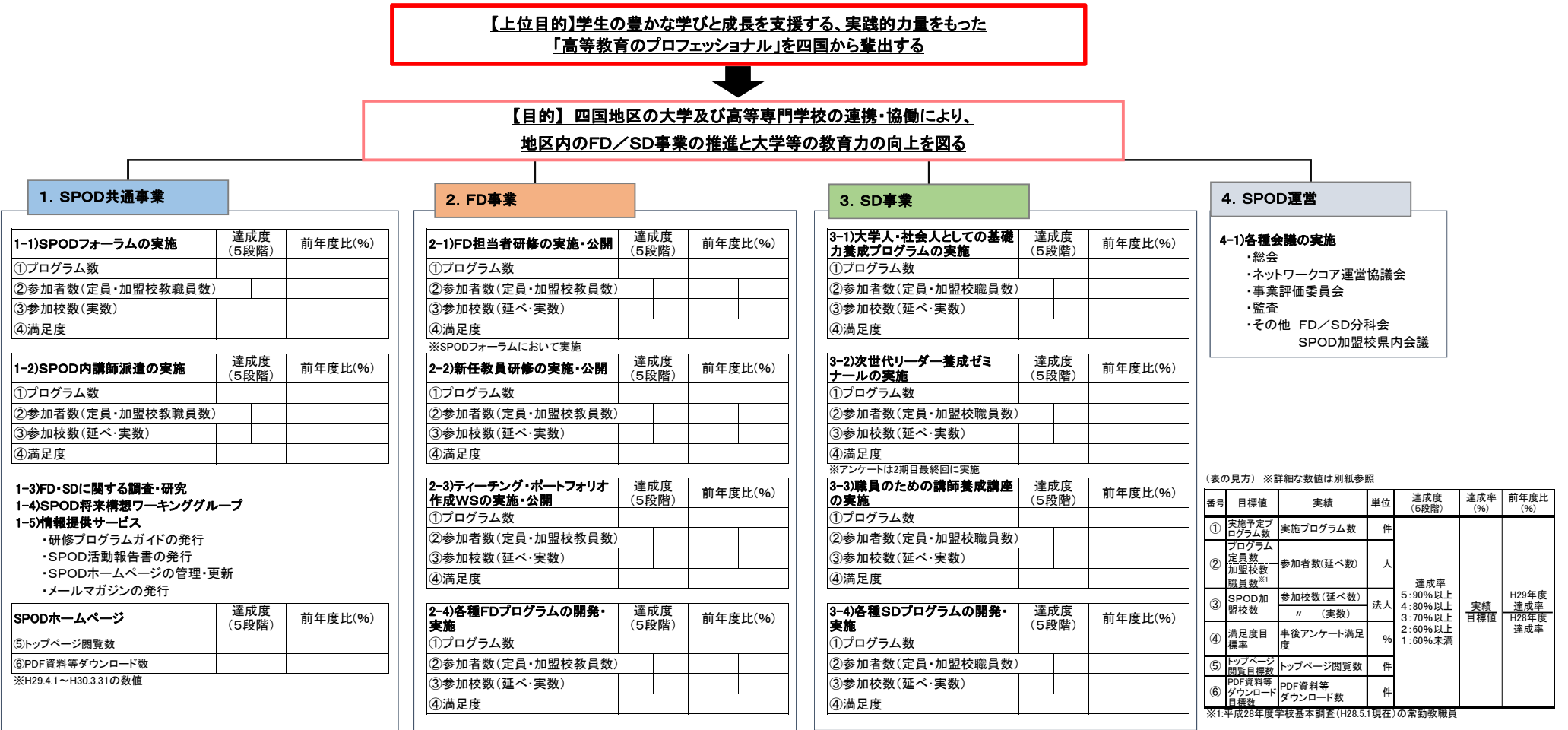
[トップページへ](#)

Copyright (C) 2015 SPOD All Rights Reserved

S P O D フォーラム 2 0 1 7 展示スペース等の設置について

1. 目 的：「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（S P O D）」における今までの取組や，S P O D 加盟校の取組の成果物などの展示や，資料を配付することにより，広く取組を周知する。
2. 場 所：徳島大学常三島キャンパス 教養教育 4 号館 2 階 4－2 0 3
3. 実施期間：平成 2 9 年 8 月 2 3 日（水）～8 月 2 5 日（金）
※S P O D フォーラム 2 0 1 7 の開催に併せて実施
4. 実施方法：S P O D の取組による成果物の展示等を行う。また，S P O D 加盟校からも取組の成果物や配付資料等を事前に送付してもらい，展示等を行う。
5. 募集方法：S P O D 事務局より，取組の成果物の展示・配付希望の調査を行う（7/11 〆切）。
※応募が多数の場合は，会場の都合でお断りすることもある。
6. 展示種別：教材，報告書，パンフレット，リーフレットなど
7. 展示等準備：S P O D の取組紹介の展示等については S P O D 事務局が準備を行う。また，各加盟校の展示物等については各加盟校で準備し，着払いで S P O D 事務局（愛媛大学教育企画課）に送付する。なお，展示スペースの設置は，S P O D 事務局及び徳島大学が行う。
8. 展示物の返却：各加盟校から提供いただいた展示物等は，希望があれば S P O D フォーラム終了後，返送する。

平成29年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧(案)



1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	40				38	38	5
②参加者数(定員数)					1799	1469	4
〃(加盟校教職員数)	6949				6949	571	1
③参加校数(延べ数)	24				24	21	4
〃(実数)							
④満足度	100				100	99	5

(参考:加盟校外(外数))

1-2)SPOD内講師派遣の実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	21				22	22	5
②参加者数(定員数)					676	613	5
〃(加盟校教職員数)	6949				6949	613	1
③参加校数(延べ数)	24				24	30	5
〃(実数)						22	5
④満足度	100				100	96	5

SPODホームページ					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
⑤トップページ閲覧数	70,000				70,000	59,440	4
⑥PDF資料等 ダウンロード数	7,000				7,000	8,477	5

※H29.4.1～H30.3.31の数値

※H28.4.1～H29.3.31の数値

3. SD事業

3-1)大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	4				5	5	5
②参加者数(定員数)	180				220	165	3
〃(加盟校職員数)	2353				2353	165	1
③参加校数(延べ数)	24				24	45	5
〃(実数)						19	3
④満足度	100				100	99	5

3-2)次世代リーダー養成セミナーの実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	4				4	4	5
②参加者数(定員数)					120	163	5
〃(加盟校職員数)	2353				2353	134	1
③参加校数(延べ数)	24				24	50	5
〃(実数)						11	1
④満足度 [※]	100				100	100	5

※アンケートは2期目最終回に実施

3-3)職員のための講師養成講座の実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	1				2	1	1
②参加者数(定員数)	15				30	9	1
〃(加盟校職員数)	2353				2353	9	1
③参加校数(延べ数)	24				24	5	1
〃(実数)						5	1
④満足度	100				100	100	5

3-4)各種SDプログラムの開発・実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	1						
②参加者数(定員数)	30						
〃(加盟校職員数)	2353						
③参加校数(延べ数)	24						
〃(実数)							
④満足度	100						

2. FD事業

2-1)FD担当者研修の実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	1				1	1	5
②参加者数(定員数)	20				30	11	1
〃(加盟校教職員数)	4596				4596	11	1
③参加校数(延べ数)	24				24	6	1
〃(実数)						6	1
④満足度	100				100	100	5

※SPODフォーラムで実施

2-2)新任教員研修の実施・公開					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	5				5	5	5
②参加者数(定員数)	140				150	73	1
〃(加盟校教職員数)	4596				4596	73	1
③参加校数(延べ数)	24				24	21	4
〃(実数)						16	2
④満足度	100				100	97	5

2-3)ティーチング・ポートフォリオ作成WSの公開・実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	4				5	5	5
②参加者数(定員数)	33				43	25	1
〃(加盟校教職員数)	4596				4596	24	1
③参加校数(延べ数)	24				24	11	1
〃(実数)						8	1
④満足度	100				100	100	5

2-4)各種FDプログラムの開発・実施					参考:平成28年度		
指標	目標値	平成29年度 実績	達成度 (5段階)	達成率 (%)	目標値	平成28年度 実績	達成度 ^{※1} (5段階)
①プログラム数	44				42	40	5
②参加者数(定員数)	1412				1479	690	1
〃(加盟校教職員数)	4596				4596	676	1
③参加校数(延べ数)	24				24	90	5
〃(実数)						17	3
④満足度	100				100	98	5

(表の見方)

番号	目標値	実績	単位	達成度 (5段階)	達成率 (%)	前年度比 (%)
①	実施予定プログラム数	実施プログラム数	件	達成率 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	実績 目標値	H29年度 達成率 H28年度 達成率
②	プログラム 定員数 加盟校教 職員数 ^{※1}	参加者数(延べ数)	人			
③	SPOD加 盟校数	参加校数(延べ数) 〃(実数)	法人			
④	満足度目 標率	事後アンケート満足 度	%			
⑤	トップページ 閲覧目標数	トップページ閲覧数	件			
⑥	PDF資料等 ダウンロード 目標数	PDF資料等 ダウンロード数	件			

※1:平成28年度学校基本調査(H28.5.1現在)の常勤教職員

平成 29 年度徳島大学全学 F D 推進プログラム 「授業設計ワークショップ」実施要項

1 目 的

各大学における教育の質向上への課題が高まる中、実質的な F D の取り組みを進めるための全学 F D 推進プログラムとして、本ワークショップを毎年実施しています。このワークショップでは、教育の質向上及び問題解決のための相互交流と日常的な教育改善を重視しています。また、授業について教員同士が学び合う場を提供する事で、教育の質向上のためのコミュニティ形成につながることを目的としています。

2 目 標

1. F D 活動の理念、活動計画を理解することができる
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得することができる
3. 授業研究の仕方を理解し、実践することができる
4. F D 参加者同士の仲間づくりができる

3 概 要

このワークショップでは、主に授業設計と教育技術に関する理論と実践を学んでいきます。主な活動内容は、シラバスと授業計画の作成、模擬授業等です。体験を通して、授業の目的、到達目標の設定、授業実施の留意点、評価方法等について理解し、具体的な授業計画を立て、模擬授業を実施します。これらの活動を通してご自身の授業について考え、振り返ることで、実践的な教育力の向上を目指します。(ワークショップまでに、講義ビデオによる事前学習を行い、シラバスと授業計画書を事前に作成します。)

4 実 施 日 平成 29 年 6 月 17 日 (土)・18 日 (日)

5 実施場所 蔵本キャンパス 医学部保健学科 C 棟

6 研修プログラム 別紙のとおり

7 対 象 者 (1) 徳島大学

- ・主に助教から講師、准教授昇任後 1 年以内、または講師、准教授として新規採用後 1 年以内の教員
(ただし、所属が研究部以外のセンター等、病院の場合、及びプロジェクト採用などの場合は除く。)
- ・学部等から推薦を受けた者(助教及び教授等)及び希望者
- ・平成 28 年度「授業設計ワークショップ」欠席者

【参加免除・研修の代替について】

- ・やむを得ない理由により受講できない教員については、所属の学部長名で理由書を提出し、次年度以降に受講する。
- ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)が開講する新任教員研修プログラムを受講した場合のみ本ワークショップの受講を免除する。
- ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)が開講するプログラムにおいて、新任教員研修プログラム以外の複数のプログラムを組み合わせた場合には、本学の研修と同様とみなすことはできないものとする。

(2) SPOD 加盟校

- ・SPOD 加盟校の大学・短期大学・高等専門学校の新任教員(若干名)

8 参加費 無料

9 その他 「授業設計ワークショップ」対象者は、参加免除、または研修の代替を行ったとしても「授業参観・授業研究会」を受講し、その後、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を受講することが望ましい。

※「授業参観・授業研究会」の詳細は、

<http://www.tokushima-u.ac.jp/cue/fd/>

※「ティーチング・ポートフォリオ」の詳細は、

<http://www.teaching-portfolio-net.jp/>

10 主催 徳島大学FD委員会
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

授業設計ワークショップ日程（第1日目）

日時：平成29年6月17日（土）

場所：蔵本キャンパス 医学部保健学科C棟 C-23講義室

時刻	内 容	講師・担当者	備 考
12:30-12:50	・受付（医学部保健学科C棟） ※12:45までにお集りください		11:00AM 徳島市に「大雨警報かつ暴風警報」または「洪水警報かつ暴風警報」が出ていたら中止
12:50-13:30	（1）オリエンテーション ・はじめに（副学長より挨拶） ・大学教育改革の流れ ・研修のねらいと意義	吉田 博（進行） 副学長（教育担当） 高石喜久 FD委員会委員長 赤池雅史	保健学科C棟 C-23講義室
13:30-14:00	（2）アイスブレイク「課題・目標設定」 ・参加者自己紹介・交流	上岡麻衣子	保健学科C棟 C-23講義室
14:00-15:00	（3）ワーク「授業設計の基本」 ・アクティブ・ラーニングの理論と効果 ・成績評価の意義・方法 ・学生の学習を促す授業方法	吉田 博 上田勇仁	保健学科C棟 C-23講義室
15:00-15:10	休憩		
15:10-16:10	（4）ワーク「自身の教育理念」 ・授業で大切にしていること	吉田 博 新原将義	保健学科C棟 C-23講義室
16:10-16:20	休憩		
16:20-17:45	（5）講義・ワーク「授業計画」 ・シラバス・授業計画書の書き方 ・シラバス・授業計画書の修正 ・2日目の模擬授業の進め方について	宮田政徳 スタッフ全員	保健学科C棟 C-23講義室
18:00-20:00	交流会（任意参加）	吉田 博	

※事前に「授業設計ワークショップ」の講義ビデオのうち、指定された講義を必ず視聴してください。当日はビデオによる学習を行っていることを前提に、参加者間でのグループワーク等を行います。

授業設計ワークショップ日程（第2日目）

日時：平成 29 年 6 月 18 日（日）

場所：蔵本キャンパス 医学部保健学科C棟 C-23講義室他

（集合後、模擬授業を実施する教室へ移動します。）

時 刻	内 容	講師・担当者	備考
9:00-9:30	・集合、模擬授業準備 (教材印刷が必要な場合は9:00集合)	スタッフ	集合：保健学科C棟C-23講義室
9:30-12:10	(6) 模擬授業実施（グループで実施） ・FD委員紹介、流れの確認 【模擬授業の流れ】(1人25分×4人(休憩適宜)) ・シラバス・授業計画書等の紹介(5分) ・模擬授業の実施(15分) ・授業検討会(10分) →チェックリストをもとによかった点、改善点等を検討する。	各班司会：FD委員 ワーク支援： スタッフ全員	<模擬授業実施手順> 教室：各班グループ 部屋へ移動
12:10-13:10	休憩 各自で昼食		*生協休業
13:10-13:40	(7) 模擬授業の振り返り ・模擬授業検討会を受けて授業の改善点 ・今後のアクションプラン	川野卓二 吉田 博	保健学科C棟 C-23講義室
13:40-14:00	(8) 教育力開発コース概要 ・教育力開発コースの意義・内容	吉田 博	保健学科C棟 C-23講義室
14:00-14:40	(9) プログラムのまとめ ・講評 ・修了証書授与 ・アンケート ・おわりの言葉	吉田 博(進行) FD委員会委員長 赤池雅史	保健学科C棟 C-23講義室

平成 29 年度 第 28/29 回 愛媛大学授業デザインワークショップ実施要項

1. 主 催

- 第 28 回 愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室（教職員能力開発拠点）
 第 29 回 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

2. 期 日

- 第 28 回 平成 29 年 7 月 1 日（土）～7 月 2 日（日）いまばり湯ノ浦ハイツ（宿泊研修）
 第 29 回 平成 29 年 8 月 30 日（水）～9 月 1 日（金）愛媛大学城北キャンパス（通い型）
 （同じ内容ですのでどちらか一方にご参加ください。）

<第 28 回>

集合・出発時刻 1 日目 7:50 愛媛大学城北キャンパス正門前集合
 8:00 出発（マイクロバスで移動）

※現地までは、原則として、愛媛大学から出発するマイクロバスでの移動をお願いします。

解散時刻 2 日目 15:00 愛媛大学城北キャンパス正門前解散

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

<第 29 回>

集合・開始、終了時刻 1 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，19:30 終了予定（交流会含む）
 2 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，17:00 終了予定
 3 日目 8 時 50 分集合，9:00 開始，12:30 終了予定

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。第 29 回は一部「職員のための講師養成講座」との共同開催になります。

※上記日程でご都合が合わない方は、徳島大学、香川大学、高知大学においても同様の研修を実施しておりますので、そちらの研修にご参加ください。（詳細は 13 に表示）

3. 場 所

<第 28 回>いまばり湯ノ浦ハイツ

〒799-1525 愛媛県今治市湯ノ浦 23 番地 電話 0898-48-2000

URL: <http://www.yunoura-h.or.jp/>

<第 29 回>愛媛大学城北キャンパス

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番

<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html>

4. 参加対象者（一度参加した者は除く）

- 1) 一昨年度から今年度にかけて大学等に採用された、授業担当または担当予定の教員（授業担当経験 5 年以上を除く）
- 2) 愛媛大学テニユア育成教員
- 3) その他参加を希望する教員（非常勤講師を含む）

5. 定員

<第 28 回>20 名程度

<第 29 回>20 名程度

6. 実行委員

弓削 俊洋（実行委員長，教育・学生支援機構長）
 中井 俊樹（教育企画室教授）
 村田 晋也（教育企画室講師）
 加地 真弥（教育企画室特定研究員）

小林 直人（学長特別補佐，教育企画室長）
 仲道 雅輝（教育企画室講師）
 小林 忠資（教育企画室特任助教）
 五貫 恵美（教育企画チーム）

7. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には、授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し、参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

8. 目標

- 1) 学生の学習を促すシラバスを書くことができる。
- 2) さまざまな授業方法の特徴を理解し、学習目標に適した授業方法を選択できる。
- 3) 教育評価の原理と種類を理解し、学習目標に適した評価方法を選択できる。
- 4) アクティブラーニングを取り入れた 90 分の授業の計画を作成できる。
- 5) 作成した授業計画案にもとづいて模擬授業を実践できる。

9. 研修形態

- 1) 体験型研修です。複数のセッションに分かれて、ミニ講義とグループ作業を繰り返します。
- 2) 異なる学部 of 教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) 研修自体がグループ学習形式であり、学生参加型授業を体験します。
- 4) 全員が 10 分間の模擬授業を行います。

10. その他

- 1) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 2) 参加費として、第 28 回（7 月実施）は、13,000 円（宿泊費、食費、交流会費など）、第 29 回（9 月実施）は、5,000 円程度（食費、交流会費など）を当日会場で徴収します。詳細は後日お知らせします。
なお、ご都合により参加できなくなる場合は、1 週間前までに必ずご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費をご負担いただくことがあります。
- 3) 第 28 回（7 月実施）に参加する愛媛大学の教員は、出張扱いとなりますので、各部局の総務担当にお問い合わせ願います。また、愛媛大学正門から会場までのマイクロバスを運行しますので、ご利用ください。
- 4) 当日、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので了承ください。
- 5) 修了証書は、全日程に参加された方の方に授与されますので、あらかじめご了承ください。
- 6) 事前にアンケートをお願いすることになりますのでご協力お願いいたします。

11. お申し込み・問い合わせ

参加申込書（様式 1）によりお申し込みください。

<愛媛大学申し込み・問い合わせ先>

E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp TEL : (089)927-8922 (担当 加地)

12. プログラム日程(宿泊研修の予定)

○第 28 回（7 月実施）スケジュール

9:30 現地到着

時刻	内容
9:30-9:40	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
9:40-10:10	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク
10:10-10:40	(3) ミニ講義Ⅰ 「何が学生の学びを促進するのか」
10:40-11:20	(4) ミニ講義Ⅱ 「コース設計&クラス設計の考え方」 ・1 科目（コース）の授業計画の立て方
11:20-11:50	(5) ミニ講義Ⅲ 「シラバスの書き方」 ・目標設定

11:50-12:00	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
12:00-13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00-14:00 (適宜休憩)	(7) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
14:00-14:35	(8) ミニ講義Ⅳ「様々な授業方法」 ・講義形式のメリット・デメリット ・双方向型授業のコツ ・体験型授業 ・参加型授業
14:35-15:35 (適宜休憩)	(9) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・シラバス作成 ・授業計画と評価計画
15:35-16:10	(10) ミニ講義Ⅴ「学習評価の基本」 ・学習評価の目的 ・評価の方法と評価対象
16:10-17:10	(11) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 15分
17:10-18:00	(12) ミニ講義Ⅵ「クラス設計」 ・90分授業の基本構成 ・90分（クラス）の授業計画
18:00-18:30	チェックイン、移動、休憩

第Ⅱ部 1日目（夜）プログラム日程

時刻	内容
18:30-20:00	夕食・交流会
20:00-21:30	(13) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画案作成
21:30-	自由時間・お風呂・お悩み相談
※シラバス&授業計画案の提出（～21:30 まで）	

第Ⅲ部 2日目（朝・昼）プログラム日程

時刻	内容
7:30-8:30	朝食

8:30-10:00	(14) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・ 模擬授業の練習
10:00-12:00	(15) 模擬授業 ・ 模擬授業 10 分 ・ 討議・検討 15 分
12:00-12:30	(16) 閉会式 ・ グループ作業の振り返り学んだことは何か？（どう実践に活かすか？） ・ 大学教員としての今後の質向上 ・ 修了証書授与 ・ 閉会の言葉
12:30-13:30	昼 食

13:45 現地出発予定

※内容等予定は変更になることがございます。

○第 29 回（9 月実施）スケジュール

第Ⅰ部 1 日目（朝・昼・夕）プログラム

時刻	内容
10:00-10:10	(1) オリエンテーション ・ 研修の目的・目標の確認 ・ スタッフ紹介とお願い
10:10-10:50	(2) アイスブレーキング ・ 自己紹介 ・ グループワーク
10:50-11:30	(3) ミニ講義Ⅰ「学習者の学びを促進する方法」
11:30-12:30	集合写真撮影・昼食・休憩
12:30-13:05	(4) ミニ講義Ⅱ「コース設計&クラス設計の考え方」 ・ 1 科目（コース）の授業計画の立て方
13:05-13:40	(5) ミニ講義Ⅲ「シラバスの書き方」 ・ 目標設定
13:40-15:40	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・ シラバス作成 ・ 目標設定 ・ 1 科目（コース）の授業計画の立て方
15:40-15:50	休 憩
15:50-16:30	(7) ミニ講義Ⅳ「様々な授業・研修の方法」 ・ 講義形式のメリット・デメリット ・ 双方向型授業のコツ ・ 体験型授業 ・ 参加型授業
16:30-17:00	(8) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・ シラバス作成 ・ 授業計画

17:30—19:30	交流会
-------------	-----

第Ⅱ部 2日目プログラム日程

時刻	内 容
10:00—10:20	(9) 振り返り・質疑応答
10:20—11:00	(10) ミニ講義Ⅴ「学習評価の基本」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象
11:00—12:00	(11) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・授業計画の作成
12:00—13:00	昼 食
13:00—13:35	(12) 授業・研修のための話し方
13:35—14:50	(13) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 10分
14:50—15:50	(14) ミニ講義Ⅵ「クラス設計」 ・90分授業の基本構成 ・90分（クラス）の授業計画
15:50—17:00	(15) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画の立て方 ※シラバス&授業計画案の提出（～17:00まで）

第Ⅲ部 3日目プログラム日程

時刻	内 容
9:00—9:30	(16) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・授業の練習
9:30—12:00	(17) 模擬授業 ・授業紹介 ・模擬授業 10分 ・討議・検討 15分
12:00—12:30	(18) 閉会式 ・振り返り（学んだことは何か？どう実践に活かすか？） ・大学教員としての今後の質向上 ・修了証書授与 ・閉会の言葉

※昼食はお弁当を準備いたします。

※一日目の交流会はできる限りご参加ください。

※内容等予定は変更になることがあります。一部「職員のための講師養成講座」と共同開催になります。

13. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- 1) 愛媛大学「授業デザインワークショップ」及び以下の徳島大学、香川大学、高知大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク(SPOD)内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。
- 2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学申し込み先にご連絡ください。
- 3) 以下のプログラムは、愛媛大学テニユア教員育成制度における PD 認定プログラムとして認定されています。受講する際は、別途、旅費等が必要になります。

◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月17日(土)～6月18日(日)

【会場】徳島大学

【申し込み先・問い合わせ先】

徳島大学学務部教育支援課教育企画室

TEL：088-656-7686

E-mail:kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

◆香川大学「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】9月14日(木)～15日(金)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

TEL：087-832-1153

E-mail:gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

◆高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」

【日程】8月29日(火)～8月30日(水)

【会場】高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310教室

【申し込み先・問い合わせ先】

高知大学学務部学務課

TEL：088-844-8144

E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】

実施日：平成29年5月10日（水）～5月12日（金）

実施会場：愛媛大学総合情報メディアセンター1階 メディアホール

当日参加者数：72名

（※「コミュニケーション入門」、「ビジネスマナー入門」、「キャリア形成入門」70名）

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	67	95.7
② 短期大学	2	2.9
③ 高等専門学校	1	1.4
④ その他（ ）	0	0.0
計	70	100.0

(2) 所属先の設置者

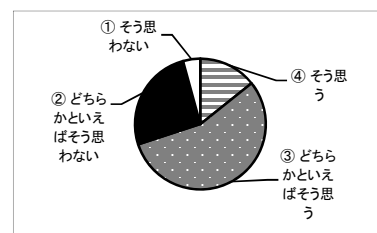
	回答数	割合
① 国（国立大学法人）	60	85.7
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	1	1.4
③ 学校法人	9	12.9
④ その他（ ）	0	0.0
計	70	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。（具体的に）
別紙記載

2. この研修について

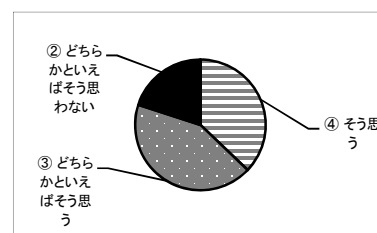
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	10	14.3
③ どちらかといえばそう思う	39	55.7
② どちらかといえばそう思わない	18	25.7
① そう思わない	3	4.3
計	70	100.0



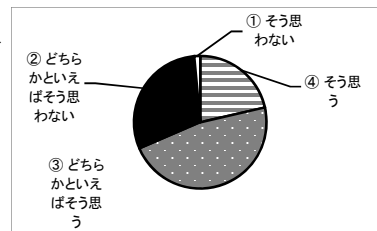
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	26	37.1
③ どちらかといえばそう思う	30	42.9
② どちらかといえばそう思わない	14	20.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



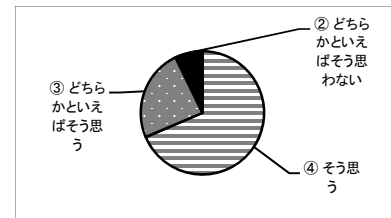
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	15	21.4
③ どちらかといえばそう思う	33	47.1
② どちらかといえばそう思わない	21	30.0
① そう思わない	1	1.4
計	70	100.0



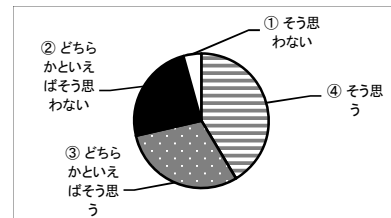
(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

	回答数	割合
④ そう思う	48	68.6
③ どちらかといえばそう思う	17	24.3
② どちらかといえばそう思わない	5	7.1
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



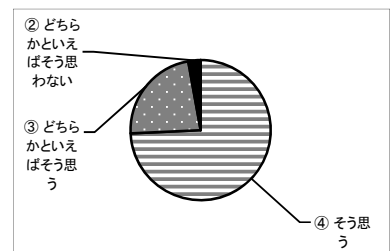
(5) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	29	41.4
③ どちらかといえばそう思う	21	30.0
② どちらかといえばそう思わない	17	24.3
① そう思わない	3	4.3
計	70	100.0



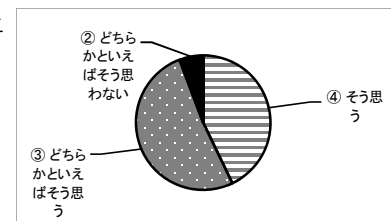
(6) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	52	74.3
③ どちらかといえばそう思う	16	22.9
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



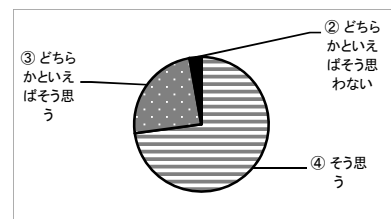
(7) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	30	42.9
③ どちらかといえばそう思う	36	51.4
② どちらかといえばそう思わない	4	5.7
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



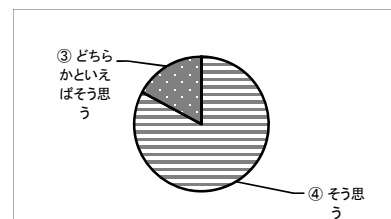
(8) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	51	72.9
③ どちらかといえばそう思う	17	24.3
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



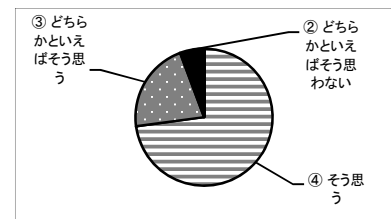
(9) 事務局の対応は丁寧だった

	回答数	割合
④ そう思う	58	82.9
③ どちらかといえばそう思う	12	17.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



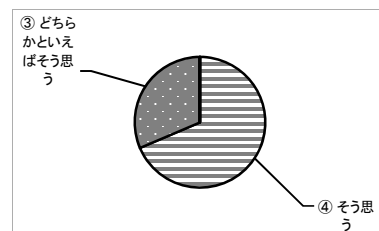
(10) 新たに人的つながりをつくることのできた

	回答数	割合
④ そう思う	51	72.9
③ どちらかといえばそう思う	15	21.4
② どちらかといえばそう思わない	4	5.7
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



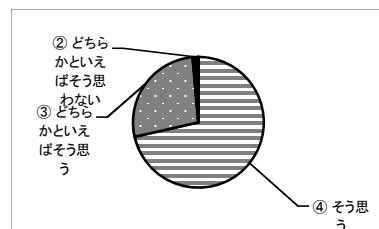
(11) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	48	68.6
③ どちらかといえばそう思う	22	31.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



(12) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

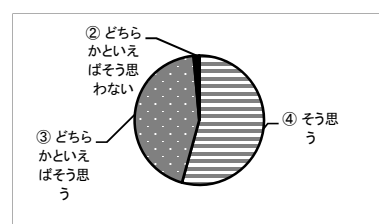
	回答数	割合
④ そう思う	50	71.4
③ どちらかといえばそう思う	19	27.1
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



3. 「高等教育職員入門」研修について

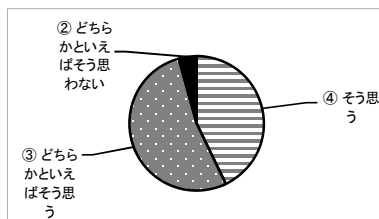
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	38	54.3
③ どちらかといえばそう思う	31	44.3
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



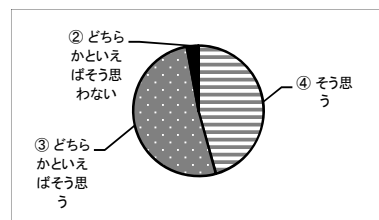
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	30	42.9
③ どちらかといえばそう思う	37	52.9
② どちらかといえばそう思わない	3	4.3
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



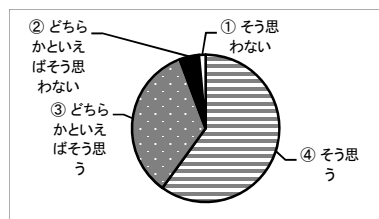
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	32	45.7
③ どちらかといえばそう思う	36	51.4
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



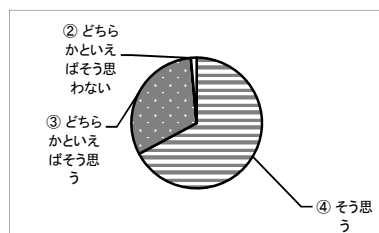
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	42	60.0
③ どちらかといえばそう思う	24	34.3
② どちらかといえばそう思わない	3	4.3
① そう思わない	1	1.4
計	70	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

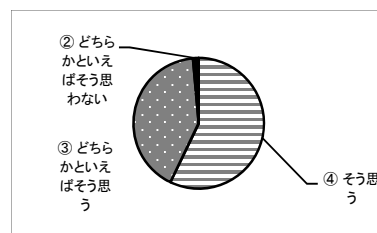
	回答数	割合
④ そう思う	47	67.1
③ どちらかといえばそう思う	22	31.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	1	1.4
計	70	100.0



4. 「メンタルヘルス・セルフケア」研修について

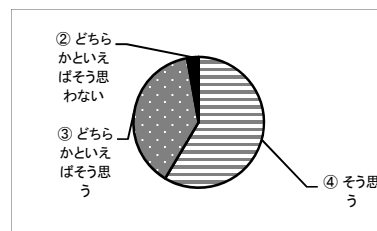
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	40	57.1
③ どちらかといえばそう思う	29	41.4
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



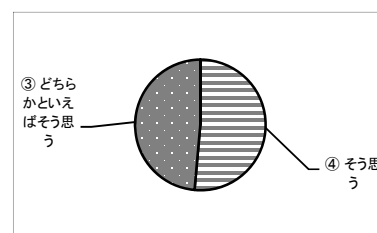
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	41	58.6
③ どちらかといえばそう思う	27	38.6
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



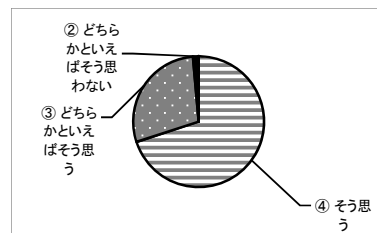
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	36	51.4
③ どちらかといえばそう思う	34	48.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



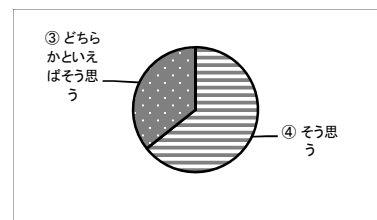
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	49	70.0
③ どちらかといえばそう思う	20	28.6
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

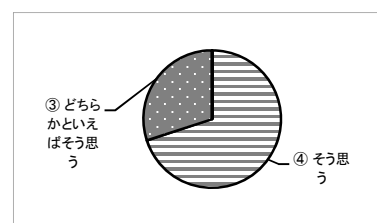
	回答数	割合
④ そう思う	45	64.3
③ どちらかといえばそう思う	25	35.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



5. 「コミュニケーション入門」研修について

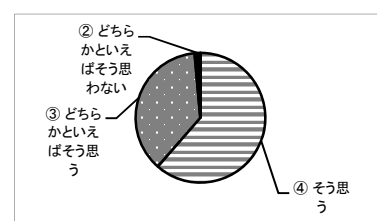
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	49	70.0
③ どちらかといえばそう思う	21	30.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



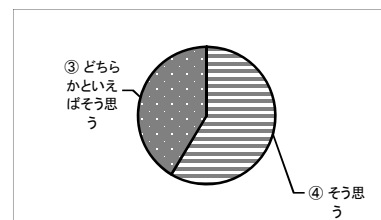
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	43	61.4
③ どちらかといえばそう思う	26	37.1
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



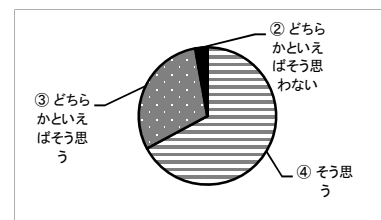
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	41	58.6
③ どちらかといえばそう思う	29	41.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



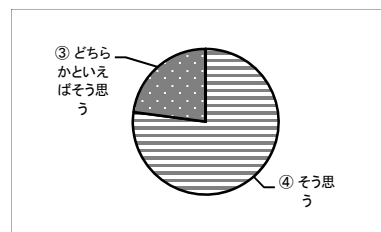
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	47	67.1
③ どちらかといえばそう思う	21	30.0
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

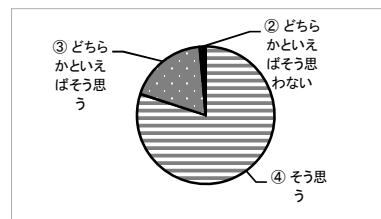
	回答数	割合
④ そう思う	54	77.1
③ どちらかといえばそう思う	16	22.9
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



6. 「ビジネスマナー入門」研修について

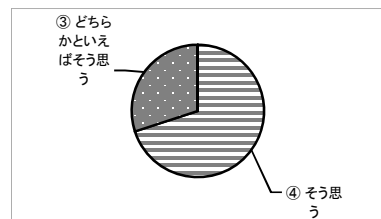
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	56	80.0
③ どちらかといえばそう思う	13	18.6
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



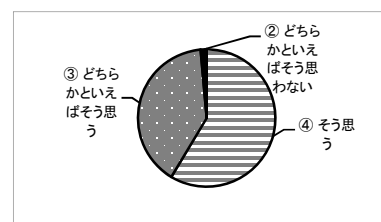
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	49	70.0
③ どちらかといえばそう思う	21	30.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



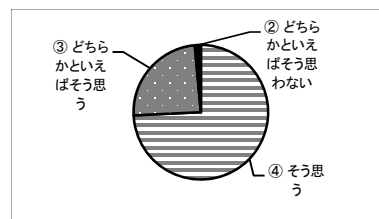
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	41	58.6
③ どちらかといえばそう思う	28	40.0
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



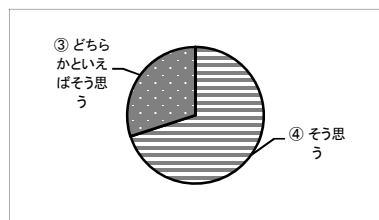
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	52	74.3
③ どちらかといえばそう思う	17	24.3
② どちらかといえばそう思わない	1	1.4
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	49	70.0
③ どちらかといえばそう思う	21	30.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	70	100.0

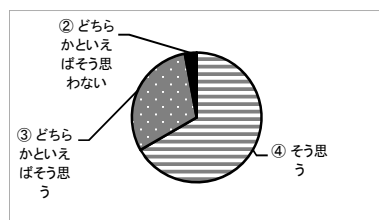


7. 「キャリア形成入門」研修について

(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	46	66.8
③ どちらかといえばそう思う	21	30.4
② どちらかといえばそう思わない	2	2.8
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

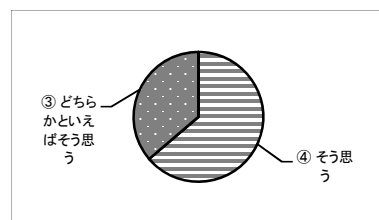
※1名未記入



(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	44	64.6
③ どちらかといえばそう思う	25	35.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

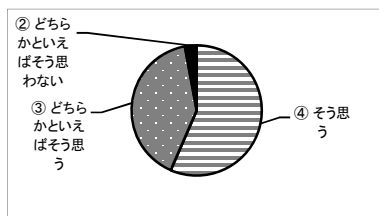
※1名未記入



(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	39	57.6
③ どちらかといえばそう思う	28	39.6
② どちらかといえばそう思わない	2	2.8
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

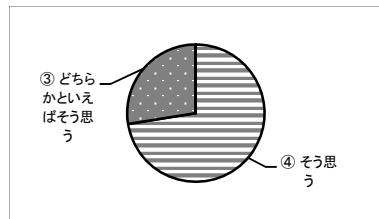
※1名未記入



(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	50	72.9
③ どちらかといえばそう思う	19	27.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

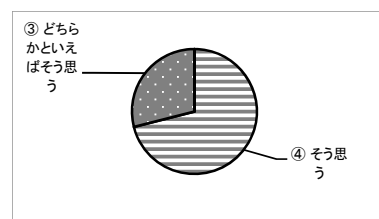
※1名未記入



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	49	71.4
③ どちらかといえばそう思う	20	28.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

※1名未記入

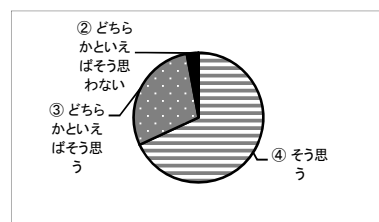


8. 「危機管理入門」研修について

(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	47	68.6
③ どちらかといえばそう思う	20	28.6
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

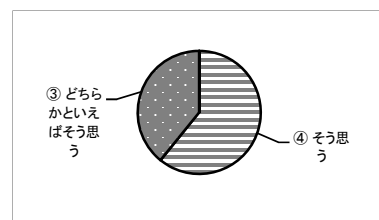
※ 1 名未記入



(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	42	61.4
③ どちらかといえばそう思う	27	38.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

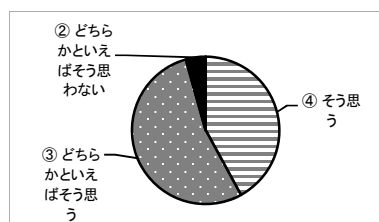
※ 1 名未記入



(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	29	42.8
③ どちらかといえばそう思う	37	52.9
② どちらかといえばそう思わない	3	4.3
① そう思わない	0	0.0
計	69	100.0

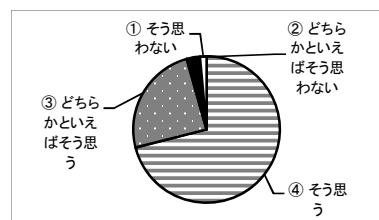
※ 1 名未記入



(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	49	71.4
③ どちらかといえばそう思う	17	24.3
② どちらかといえばそう思わない	2	2.9
① そう思わない	1	1.4
計	69	100.0

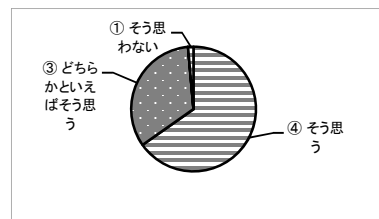
※ 1 名未記入



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	45	66.1
③ どちらかといえばそう思う	23	32.5
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	1	1.4
計	69	100.0

※ 1 名未記入



9. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。 別紙記載

10. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。 別紙記載

自由記述欄

1. (3)現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- ・ 高等教育職員に関する知識 (1 4)
- ・ 高等教育機関を取り巻く現状 (3)
- ・ 学内規則 (2)
- ・ 業務の規則・マニュアル (4)
- ・ 高等教育機関に関する知識 (2)
- ・ 自身の業務に関する大学職員としてのスキル (3)
- ・ 自身の実務知識 (2)
- ・ 教務関係の知識
- ・ 大学職員としての意識

- ・ コミュニケーションスキル (1 6)
- ・ P R E P 法 (2)
- ・ 英語力
- ・ わかりやすい話し方
- ・ 物事を簡潔にまとめて情報を伝える技術

- ・ ビジネスマナーの知識 (2 3)
- ・ 電話対応 (2)
- ・ メールのマナー (2)
- ・ 相手に失礼のない行動
- ・ 書類作成スキル

- ・ キャリア形成 (4)
- ・ キャリアアップ
- ・ 将来のキャリア設計

- ・ 危機管理能力 (8)
- ・ 危機管理の応用
- ・ 危機管理の対処法
- ・ 非常時の対処法
- ・ 非常時のポケットマニュアル等の確認・携帯 (2)

- (その他)
- ・ パソコンスキル
- ・ Excel のスキル (3)
- ・ 情報管理
- ・ 簿記
- ・ 大学会計
- ・ 事務スキル
- ・ 文書作成スキル
- ・ 文書保管スキル
- ・ 業務遂行能力
- ・ 専門的な資格取得
- ・ 専門的な知識 (2)
- ・ 法律の知識
- ・ 技術的知識
- ・ 人事の知識
- ・ 学生対応力
- ・ 履修指導力
- ・ 社会人基礎力 (2)

9. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

(他大学との交流について)

- ・ 自校・他大学の人と交流できた (15)
- ・ 様々な世代の同期ができて良かった
- ・ 他大学の職員との繋がりができた点は、今後業務をする上で有利だと思う
- ・ 同じ立場の職員と現在の悩みや状況を共有できて勉強になった (3)
- ・ キャリアについて同じ時期に入職した人と語り合うことができて、不安が解消された

(グループワークについて)

- ・ グループを頻繁に変えてくれたのでたくさんの方と話をすることができた (3)
- ・ グループワークで他者の意見が聞けることで見解が広がった
- ・ 傾聴する部分だけでなく、適度にワークも入っていて、より深く知識を得ることができた (4)

(講義内容について)

- ・ 高等教育を取り巻く現状等、知らない知識を身につけることができた (10)
- ・ 大学を囲む現状について理解し、対策を考えることができた
- ・ 求められている職員像を良く知ることができたので目指して頑張りたい
- ・ メンタルヘルス・セルフケアについて、自分自身の心の状態を知ることができた良いきっかけになった
- ・ コミュニケーション入門では、大切だとわかりながらも改めて気づけることがあった
- ・ コミュニケーション入門では自身の業務に直結する良い研修になった
- ・ コミュニケーション手法 (PREP法) を反復して行った点
- ・ ビジネスマナーについて今まで勘違いしていることが多々あり、改めて自ら学び、知識を身につけて経験を増やしていきたいと思った (2)
- ・ ビジネスマナー等最初に学ぶべきことを学べて良かった (2)
- ・ キャリア形成入門を受講して自分のキャリアについて考えることができた (2)
- ・ 危機管理入門は初めて受講したため勉強になった
- ・ 普段の業務で学べないこと (特に危機管理等) を学ぶことができた (2)
- ・ 他大学で起こった事件・事故を自大学のことと捉える必要性を学べた

(その他、研修内容について)

- ・ 実践的で業務に活かせる内容であった (4)
- ・ 大学職員として不足している基礎知識が多くあることを実感できた (6)
- ・ 今後の大学職員として自身のあるべき姿を考えることができた (4)
- ・ 発表の場がたくさんあり、自分の意見を考え発言するという体験ができた
- ・ 6つの科目から幅広く学べた
- ・ 業務の中の疑問点を解決できた
- ・ 新人としての仕事の心構えを学べた
- ・ 自分が技術員で、普段このようなことを学ぶ機会が少ないので、全体的に参考になった
- ・ 自身のスキルアップに繋がった
- ・ 体感・経験から覚えていたものが、体系的に整理され、用語として理解でき、深め方が分かった
- ・ 初任者研修が初めてだったので基本的な社会人マナーや大学職員としての立場を自覚することができた
- ・ マナー等必要なスキルが身につくと共に、人との輪を広げることができた
- ・ 今後今回の研修で学んだことを意識し、責任を持ち仕事をしていきたい

10. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

(研修日程・時間について)

- ・ 研修時間・日程が少し長い(2)
- ・ もう少し休み時間が欲しかった
- ・ 休憩時間を1時間きっちり欲しい
- ・ 休憩時間までスケジュール(日程表)に入れていただけるとありがたい
- ・ 4月のできるだけ早い時期に開催していただけたら嬉しい
- ・ ゴールデンウィーク明けは自身の業務が溜まっており大変だった

(講義内容について)

- ・ メンタルヘルス・セルフケアの講義のスライド6が示された意図がよくわからなかった。もし将来自分がメンタルヘルス不調・不全により休職しなければならない場合に「他の人に迷惑をかける」ことをより意識してしまうように見受けられた。鬱病については医師等からの説明の方が良いと思う
- ・ ビジネスマナー入門ではもう少し実践的な内容にしていただけると良いと思う(具体的な名刺の渡し方, お茶汲みのマナーなど)(3)
- ・ グループワークのディスカッションをもっと増やしたい
- ・ 少しジャンルが詰め込まれすぎている印象があった
- ・ 事前に予習することができればより深い理解ができるのではないかと思った(ワークを行った時の充実感となるため)
- ・ 中途採用者等, 新卒者以外はある程度マナー等の知識のある人もいるため, 研修を選択できるようにしていただけるとありがたい
- ・ 大学ならではの会計や教務についても学びたかった

(その他, 会場・環境について)

- ・ 班分けを被らないようにしてほしい
- ・ 規模が大きく, もう少し少人数の方が良いと感じた
- ・ (研修会場の)密度が多い
- ・ 受講者の体調管理
- ・ 貴重な体験をさせていただきありがとうございました
- ・ もう少し長い時間研修を受けていたかったです。楽しい時間をありがとうございました
- ・ スタッフの方3日間ありがとうございました
- ・ 3日間運営していただき本当にありがとうございました